



特別
U 8
5174



門 5174
巻

和暦出千八百四十一年天保十一年 同千八百四十

二年天保十二年 近唐島工ギリス人阿片高賣停止方付

記録以多一事



一前条を中以上の通工ギリス高賣元の如くお始工ギリス
の商館元復諸より治り越お見上はゆたいたのあ堵
の場合不実唐人等表し和熟の神と取隠謀
専らゆいおホツカ地の岩と工ギリス人打碎の越と
く玉帝より千第ノ一ハシ人余しゆ三ニストル館ホ
人并五万の軍勢と卒以廣東進殺い定刀海炮火
以上の人と討取可又又和勝不可改善和勝以

昭和二十八年
六月九日
購求

陸軍の經營し廣東ホ方の河辺近堅固家と連連収
 フランスフツルレイ英ドイツフツルレイ共、河にあり
 船隻お備申し又サーミン地と新の山と築河
 乃ケレケニ河を引入て堀の如きとやいふと船隻ヲユールフツト將と後千と、
進歩用意の
 砲火等と備と浮一或はブランドル此移地
上りとのと用意を以て
 是れ其費と不厭全くエケレス人と追散らんとな
 着い多し儀とい

フラニセフツルレイ英ドイツセフツルレイの廣東ホ河口ホ有と
 小舟よて唐玉と通高いり歌の羅羅巴人等圍固造
 りの場取、右の肉或はホルラントセキユストオールド

河津地 或はフランスキユストオールド三子 押即成るエニゲルセ
の満地 キユストオールドエケレス と稱し和 取等有とい

一前余エリオツトとありの通達と意味随ひエケレス
 羊子地と人の商人等船と外と追船と、余り
 中の物とあり果ては遠く唐人を千枚工知ス
 高敏、押の商人とと忠しく報害可成心徳有
 いたる中故りてお取やい

一商人大船と迎來し其末右商人を系紐結をいす
 口う一船と唱りいす一船子一船に一船は一船い一船し一船と唱りいす
 ト一船に一船は一船い一船し一船と唱りいす一船

以乃其辺取入得去處多小和海を賑く殺して許
多の焼火照燭の得た淋愛り不成りやけ六ツ時
到てアルケリ子^名和等の和安逸と名^心の^心城市小百
近く和繫い多し

一同日凡四時頃アエールフ口ツテニ^指之^は子^と上^小焼討の用意英

ブラウンデン六ヨシケン^{焼討用}素之^私汝合ホク^流事^難愛^火の光ッ

ア^テ越邊までお見え時商人有衆紐ハスクリ子^前

英ゴツトル^前は^危る^場合よ^望ま^は半^大三^三バグニートイニ^高

^の右^左スクリ子^以英ゴツトル^は二^理不^其小^炮火

と^掛ケ^中ハ

下

一は時サ^三ニ^地の^名も^も也^ケレス方小炮火と^掛ケ^付

ゴツトル^前は^を成^不防^備い^多し^子メ^レス^ら唱^ハスト^ーニ^ホ

一^前は^以フ^コール^フ口^ツテ^ニ端^はと^散乱^セし^め玉^同三^松

或^ホント^ニ松^葉の大^炮火^の強^く度^方不^少然^中ハ

一モ^テス^テ松^名アル^ケリ^子和^名ベイ^ウー^テス^和等^の和^とも^サニ^ニ

^地の^名小^カ口^ナー^ラ一^種の^と以^お然^ハ不^少然^中ハ^度人^才

石^中矢^と盛^上敵^し中^ハ

一和^半近^在和^炮火^を合^以多^し大^よ苦^勞い^し中^ハ

東^水度^方に^炮火^を不^少然^中ハ^スクリ^子前^はゴツトル^は

と^引退^中ハ

一和業同廿二日^{丑四}の早朝モテステ^秘アルケリ子^秘ペイラ
 一テス^秘等の軍船子メニス^秘と唱ハスト^秘ムボト^秘洋^秘
 一以又、サ^秘ニ^秘の岩ト青^秘掛最烈心^秘受^秘炮^秘と^秘掛^秘
 一受^秘終^秘ハ^秘折^秘碎^秘微^秘塵^秘に^秘成^秘リ^秘又^秘以^秘時^秘小^秘ス^秘ト^秘ム^秘ボ
 一ト^秘滿^秘子^秘メ^秘ニス^秘と^秘以^秘四^秘輪^秘艘^秘の^秘度^秘軍^秘船^秘と^秘を^秘河^秘口^秘の^秘ケ^秘レ
 一^中瀬^中遊^中込^中多^中身^中を^中度^中空^中ト^中折^中飛^中シ^中或^中ハ^中河^中道^中ト^中折^中上^中市
 一度^中方^中ト^中兵^中士^中大^中、^中死^中亡^中後^中シ^中ハ^中ハ^中ケ^中レ^中ス^中方^中を^中死^中亡
 一カ^中ク^中年^中、^中百^中三^中人^中有^中ク^中イ
 一サ^中ニ^中ニ^中の^中岩^中と^中破^中却^中イ^中リ^中ハ^中未^中ダ^中ケ^中レ^中ス^中軍^中船^中無^中馬^中港
 一バ^中ツ^中サ^中ケ^中レ^中ト^中輕^中索^中リ^中船^中内^中の^中船^中と^中お^中持^中チ^中イ^中

一翌^中廿^中三日^中丑^中四^中月^中一^中年^中ト^中エ^中ケ^中レ^中ス^中軍^中船^中お^中揃^中陸^中手^中の^中去
 一と^中無^中馬^中港^中バ^中ツ^中サ^中ケ^中レ^中ト^中集^中リ^中チ^中右^中の^中地^中ハ^中度^中東^中ト^中
 一凡^中口^中五^中里^中の^中行^中程^中お^中取^中チ^中イ^中
 一和^中業^中同^中廿^中四^中日^中丑^中四^中月^中二^中日^中子^中ル^中船^中モ^中ウ^中ニ^中タイ^中の^中不^中知^中お^中ク
 一廿^中六^中日^中の^中物^中カ^中ト^中以^中テ^中再^中ビ^中異^中玉^中の^中高^中船^中取^中チ^中ト^中死^中返
 一尸^中ハ^中板^中持^中運^中ビ^中の^中お^中成^中ハ^中不^中物^中等^中迄^中、^中遺^中取^中ラ^中ん
 一を^中免^中、^中手^中取^中、^中死^中を^中以^中テ^中盜^中賊^中兵^中士^中等^中と^中逃^中出^中シ^中高^中船^中と
 一全^中ク^中不^中お^中潰^中、^中私^中患^中難^中と^中除^中シ^中ハ^中乃^中テ^中河^中業^中陀^中等^中エ^中知
 一ハ^中高^中船^中取^中チ^中出^中帳^中延^中引^中お^中チ^中ハ^中内^中安^中穩^中不^中持^中チ^中奉
 一不^中相^中叶^中、^中夜^中早^中及^中破^中却^中諸^中不^中セ^中奪^中え^中ラ^中レ^中立^中具^中類^中不

此にお納す。若又以日の内にお納す事の本
ふ中時々九百ドルに上るお納す事
第に右納方相済むに工知スの軍勢退凍
了後此是迄お備すに取の石茂明
渡す。右岩を双方和法お懸に退凍
方々再ひ兵と備は後不に相成事

第六和兵系十八百三十九年九月天保十一年七月諸島

釧と敵ちスパーニプリツキ一種の船ペルハイノ船と
奪ひ焼討せ後此岩の全責を取お
拂す事

一 元リオツト右達書小糧又書裁以し此を度玉許
多の軍兵最軍城市と立退す五百ドルに上り既
お納すに付るに三サーリス館主人が城市と立退い
工知ス人等の急度度東より退し此岩等と明渡す
事

一 度玉同時ふの知子うりリスミユス館お弱し此工知ス
のオツミール城リルがト歩と生捕或は討たに者有
といつ鷹足堂して大をと取せアア為ユルリオツ
トの員と取者もを控有スパーニセマツト一スパーニセマツト
と九根控分七分
取り取しやアア方の事

一 唐王の首將よりお弱の越ふくしと唐人等工知
レズ人の越意通る免の事と云ふ物口の事のや
下にお見一諸事先親に懐の成行はとと
色の手教もお掛の事取柄い多しに候
一 ホニコニ地も亦難病流行以し一平の軍船去年
長島のゼーオフミール諸ニシニシ余ウセ各其外許多
の士卒お暇ひ

一 唐人等からントスレシ捨子と云唐の
為め其かと相納の末唐王并韃靼
の軍兵城市を引拂い付工ケレス等船廣東より出帆
い多し工ゲレス人諸家と唐方再にお渡り候

益の事一車等双方より有しに外はたる儀無
し將又西墨利加中亦異王人との高貴を不絶有
し乃ち工ケレス人との交易は絶く無し
一 工ケレスの高貴は商人の住所と押領は故に付右
指失とエルリオット人の家にて勘定波コヤ右指失父
の浪子と高貴工ケレスの住所よりお舟中右指
失の想おもひ三指方舟子六百指又上り工ケレスにお成中
一 和榮八月九日丑三明スコウトバトバト官井ルリヤム官ハルケ官比
近頃ブレニポトニルテイヤリス館にお付いへレイホツテイニケ
ル館無隅港にお寄り多しに返る諸事是とて通はせり

一 ^船 手の軍船を出帆以多し且新ブレニポーテニテイマリ
 宿美ノ口トフヲノ下船来着以多し以付唐人等六
 恐御心可再ひ戦争の用意有ら以以相難難の
 軍兵之物 ^定 通廣東より六拾里外に退き可申
 此再ひ此地に立戻り詰はんとお備申以以物マニテイ
 宿美有地の人等廣東を立退り依之右等より交と
 推察致し以唐人等戦争近く再發可致と大に心痛
 以之
 一 ^前 和菜八月廿七日 ^{五七} スコウトベイナク船ヲニポーテニテリ
 ヤリス船美ヶ子うりルコトマシタト船ヒコガウグ船軍船一
 の内只武三艘ホニコニ船よをお残し余を助る
 今地分出帆致し

一 廣東右右船戦争の用意頻々有之以万不
 商人等其地を引拂再ひ本船に預け候以端と成り以
 一 許多の工知ス軍船ホニコニ船と引拂以越急をい
 礎とおかり不中船に風競有之以得右右風競以
 先信用お成候と申以英アモイ船と申元以末以京
 者入以以船と申事一以
 一 和菜五月二十六日 退明取宛是以方と守あるか
 く二唐人等新に船と船子又取戻り以兵を備り以

石之積込は石を河小沈免新の通海と断切戦多
の用意多し不以此は松子依之カビタイ之館ニヤス
松右と交一のを免和榮十月十二日既軍船一うルト
船ヒヤミント船スルリシク号海スク一子ル船形英ホーゾトト
号中海ストムボート瀬と率以廣東の河又走又翌
日以ニポー地と廣東との間より廣東の方小近寄セハ
而も唐人方何又作山の石を沈めは松子見法中ハ
右ニヤス故々スコウトベ一十カト館の子と離去は末年長
く和方武士少てホココ地は残居工ケハ法軍船と
交死の多しハ

一和榮五月二十六日記時取免並は後とお遠海
唐人方右松戦多の用意法ハ白ニヤス故大砲と
打教し石城積込ハ唐船三四拾艘も去教ハ金デハ
ニ館の船六艘と打沈め尚リニテ工地は石英河邊の松
と破却い多しハ末ホニ地代括して備船海ハ
一ニヤス地ニテ工地は右と責取且唐船救艘と去教ハ
或る方沈めハ末帰船ハハ付廣東一掃艦静ハ居
ハ松小有しハ乃末ホニ地小館くハ工ハ又船再ハ
押寄下ハ併とお恐連六子の軍兵と河邊に備
近如防清軍の用意多しハ廿三地は答ハ集ルハ

一和蘭丸一廿五日抵明亞瑪港一任進有之
正ニポ一テニライヤリス糖の者兩人ヲ守船救艘之幸
以出帆波しし理に

一前條の通工分人アモイの城市と責をアト
兵裁ハハ唐人ヲお恐手矢費と不厭防備の
手尚厚く心の中

一諸一第小救々所の石英基場と築子大砲八百
余按とお備へり

一和業八一廿六日提明一手の守船アモイの港
西私誌は石英基場大砲之放掛ハ要唐人

是同松烈心愛物也之敵方防子ハハ然々要工分人
岩英基場二三所打碎ハ上士卒水夫才上陸以
子後海邊ハ屯一翌朝アモイ^地責掛ハ要唐人
盛防備以ハ得才終ふお叶能系雨ハ
一城市有之ハ倉庫英唐軍船之燒拂ハ業之地
大集ハ兵器々々船積成リ或志用達也ハ私以
多し其と最大の中砲八分挺有之ハ是亦過
半々本船小積成々再ビ用達也ハ私以
一右合戦の諸唐人の死亡夥有之ハ其工分
小々手負終有之ハ

一右の通悉く破却後以上工知ス人其地悉く因の
 一免軍船式三被奇驛子武者一手と被残之和
 一業九司四^七明^九再い小方と括一出帆い
 一唐東小く帆船有^一右工知ス軍船
 一定く子^本一^地を責^在破却了後々其^法及
 一小至り^一中^一

一和業十^一日^一工知スの軍船^一山崎の城市^一テ
 一^二八^一地^一前^一來^一付^一唐^一人^一有^一手^一地^一と^一相^一固^一了^一を^一ア^一モ^一一
 一^知の^如く^手と^書れ^二時^一秘^一推^一我^一ひ^一得^一才^一工^一知^一ス
 一海陸の軍勢^一を^一示^一取^一れ^一口^一方^一敗^一走^一い^一多^一相^一山^一戦^一

一^二六^一唐^一人^一等^一集^一る^一を^一牙^一場^一防^一備^一以^一陣^一法^一終^一
 一付^一手^一利^一右^一の^一始^一末^一に^一成^一山^一付^一唐^一方^一數^一多^一の^一大^一炮^一子^一を^一
 一武器^一並^一塩^一硝^一米^一食^一等^一も^一工^一知^一ス^一方^一の^一手^一を^一落^一入^一山^一右^一大^一
 一炮^一の^一内^一に^一控^一挺^一を^一備^一向^一の^一中^一に^一相^一右^一分^一捕^一の^一不^一多^一分^一を^一
 一本^一船^一送^一り^一其^一余^一を^一破^一却^一以^一り^一

一^一同^一十^一日^一と^一十^一日^一と^一工^一知^一ス^一人^一子^一二^一ボ^一の^一河^一口^一
 一有^一山^一城^一市^一三^一八^一日^一と^一責^一取^一り^一其^一節^一唐^一人^一等^一
 一^一大^一軍^一等^一之^一勵^一し^一防^一戦^一以^一り^一以^一り^一終^一は^一敗^一走^一以^一
 一^一多^一し^一付^一工^一知^一ス^一人^一等^一也^一其^一地^一と^一亦^一毀^一燒^一拂^一り^一
 一^一工^一知^一ス^一人^一を^一捕^一取^一り^一其^一相^一殺^一多^一有^一之^一既^一に^一大^一炮^一百^一挺^一

甲子年五月朔日 初出ははフレニポーテイヤリス官去ル
和業十丁、廿七日朔日セリステイリスニメニスソレケト
ニヨ号するストムポート^{洋前}等と率以城市子ニポー
地より退き河を走り城市ユヤツト^地より^日將以戦急
い其地と責え役所と被部改し米倉と罷
去人^と其後右ストムポート^{洋前}出帆改し米倉
キ^地ニユ^地ク^地と押領改し^地イ^地ク^地右子^地ニ^地ホ^地イ^地ク^地
ユヤツト^地より^地約四十里ツキ^地ニ^地英^地テ^地ユ^地ニ^地ク^地ワ^地ニ^地三^地十^地里
有^地ク^地イ^地

一右ツキ^地ニ^地英^地テ^地ユ^地ニ^地ク^地ワ^地ニ^地三^地十^地里と唐兵遊を以て工六レ

又人不戦して其地と押領い多しユヤツト同法諸
役所と悉く被部い多し米倉と開子去人等勝手
米倉所をより改改し^地右^地者^地第一^地唐^地人^地と^地協^地依
改せ^地以^地て^地唐^地兵^地の^地メ^地ニ^地タ^地レ^地イ^地ニ^地經^地英^地ガ^地ウ^地フル^地十^地タ^地ニ^地ト^地奉^地行^地を
恨と報い^地た^地め^地い^地依^地之^地其^地去^地人^地より^地改^地又^地を^地仇^地と^地不^地改
編解論^地イ^地ヤ^地イ^地

一右の通^地より^地元^地斗^地の^地スト^地ム^地ポ^地ー^地ト^地洋^地前^地より^地再^地以^地子^地ニ^地ホ^地ー^地地^地と
括し^地出^地和^地改^地し^地和^地業^地正^地月^地十^地日^地一^地被^地地^地より^地改^地著^地和^地い
一正^地兵^地人^地何^地と^地馳^地驅^地を^地取^地り^地の^地城^地市^地と^地押^地領^地改^地し^地以^地付
唐^地兵^地の^地メ^地ニ^地タ^地レ^地ニ^地據^地等^地大^地に^地相^地恐^地右^地任^地進^地と^地少^地勿^地心^地テ^地ユ

ニコウホ一城より外之中心に在テ工ココウホ一城之子ニ市
城占九十里に據中

一子ニホ一城より工六ノ軍和備城（以）以東和業有
十五日（演）近志格別記深後（以）格之候其之由且又
再戦ノ用意等も強ク其之工六ノ人々仕掛節ノ
手高（以）己に扱唐人等工六ノ人々生捕（以）其由教書
計以付工六ノ人々常ノ不快之懐（以）候備歩重以付之
志元東唐（以）通信後ノ度所好も尚時々増極（以）下
進ノ事意落ノ扱成下式（以）計故に右未ノ使宜三月十
五日出ノ由中ノ唐（以）分三ノ力ホ一城（以）小来リ由故を傳付仕
方

古知飛（以）せん

急下内あり

がらんて掛ん

新加飛（以）せん

志以出ノ由河原（以）せん

志以出

右者先車言車是以上来ノ儀以格和解
出来仕以付寺是上以以

西喜津右文
本本昌右車
中山作三席
岩瀬流十席

寅
七月

横女藏之助
森山源右衛門
石切八左衛門
植村佐七郎
石橋助十郎
末永七十郎
西記志牛
小川慶右衛門
志公記竜太

